

コロナに  
負けない!

# ご近所福祉 甲 賀

臨時号

令和2年5月15日発行  
甲賀地域  
ご近所福祉推進協議会

4月16日、新型コロナウイルス感染症の拡大により、全国を対象に緊急事態宣言が出されました。各地域のサロン活動やさまざまなボランティア活動なども、外出自粛の呼びかけにより、活動は休止している・せざるを得ないとの声をたくさん聞いています。子どもから高齢者まであらゆる世代の人が家で過ごすことが増え、それと同時に人と出会う・出会える機会がかなり減っているのも現状です。

こんな時だからこそ…！今一度、“ご近所福祉活動”について考えてみませんか？

今回は、新型コロナウイルスの影響によって行われている活動、また、今のこの状況の中で生まれた活動の一部を紹介します。

## 行場のない食材に込めたご近所福祉！

4月24日、新型コロナウイルス感染症対策による緊急非常事態によって行き場を失った食材を、生活が苦しくなってきた高齢者世帯やひとり親世帯など数十世帯に配布するボランティア活動が甲賀地区でも行われた。

これは前日、大久保防災委員と大久保女性防火クラブの西田くみ子さんの呼びかけで始まったボランティア活動に賛同する有志の活動だ。

配布を終えた参加者の一人、井村龍造さんからは「ボランティアの皆さんの気持ちです」と届けると、お互いさわやかな気持ちになりました。」とのこと。（大原自治振興会広報より抜粋）



## 心あたたまる手作りの絵手紙 ～ボランティアグループささえ愛の取組み～



週に一度、甲賀地域の高齢者等に手作りのお弁当を夕食として届けられているボランティアグループ。お弁当を待っている人がおられることから、4月に入るまでは、より一層の消毒等、衛生面に気を付けながら活動を続けておられましたが、新型コロナウイルスの事態がますます悪化してきたことにより、活動を一旦自粛されることになりました。

活動自粛により、訪問してお弁当を届けることはできませんが、その代わりに、いつも訪問している利用者のお宅に絵手紙を郵送されています。絵手紙は、普段届けられているお弁当に添えられているもので、1枚1枚心のこもったボランティアによる手作りです。季節の花の絵が描かれた絵手紙には、「お変わりありませんか」「困ったことがあれば社会福祉協議会へ相談を」など利用者を気遣うメッセージがぎっしりと書かれています。人と出会うことが減ってしまった状況の中、利用者からは「元気が出たわ」と、ボランティアのうれしい心配りに喜びの声が届いています。

### そのほかにも・・・

いつもの活動ができない代わりに…と工夫した取り組みが検討・実施されています。

- 手作りマスク作成（入手できず困っている人のために）
- さりげなく見守り活動（散歩時、カーテンが開いているか等をチェック）
- 電話でおしゃべりをしながら近況確認
- サロンの参加者に今まで撮った写真をアルバムにして配布 などなど



## お互いの心の扉を開く、ご近所福祉 / ご近所福祉推進協議会 会長 中島教芳

西田さんたちの食料を配布する活動（本紙おもて面）を知って、一日に 5,000 食の弁当を生活困窮者に無償で届けているシンガポールのボランティア団体を連想しました。

以下は、NHK 放映の「あたたかな弁当に宿る心」からの抜粋です。番組内で行われた、ボランティア団体代表のトニー氏と、聞き手の道傳愛子氏のやりとりを一部紹介します。

道傳：支援が必要な人は、どう見つけるのですか？

トニー：まず、ソーシャル・ワーカーや地元の人など、事情を知っている人から教えてもらいます。それから訪ねて行き、支援を決めます。

道傳：「シンガポールの貧困は見えにくい」とおっしゃいましたね。どういう意味ですか？

トニー：シンガポールでは、みなHDB（公共団地）に暮らしています。ドアが閉まっている。すると何も見えません。中で何が起きているか、誰にもわかりません。ひもじい思いをしているのか、裕福なのか。

道傳：では、どのように知ればよいでしょう？

トニー：隣人に「おはよう」と声をかける。それが知ることです。そうすれば、何が起きているかわかります。お隣に話しかけず、ドアを開かなければ、自らを閉じ込めることになるのです。行動を起こさない。



どちらも、みなさんの小さな善意を即かたちにしたボランティアの大きな力ですね。この活動に勇気づけられて、いろいろな機会をつかみながら、ボランティアで困りごと軽減支援ができることを見出していきたいと思います。

## おらせ \* \* \* \* \*

### 生活支援ボランティア にんにんおたすけ隊

高齢者の方等を対象に、ちょっとした暮らしの困りごとを、一緒に解決できるように取り組む生活支援ボランティア。

ボランティアとして、“できるときに” “できることを” “できる人が” ということをモットーに活動されています。

コロナウイルス感染拡大防止のため、“できること” が限られているかもしれませんが、相談は通常どおり受け付けています。電球の交換、草引き、重いものの移動等、日常生活の中でお困りのことがありましたら、社会福祉協議会 甲賀地域福祉活動センター（☎88-2942）までご相談ください。にんにんおたすけ隊へつなぎます。

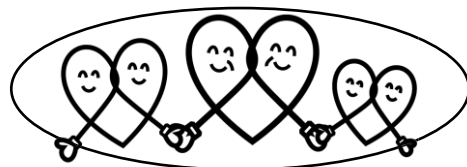
～依頼者とボランティアが一緒に行う活動です～

【内 容】ちょっとした困りごとのお手伝いや協力

【時 間】目安は1時間程度

【協力金】1時間300円（ほか、必要な経費は依頼者負担となります）

【その他】依頼内容によっては、他のサービスや専門機関等がふさわしい場合は、そちらをおすすめする場合があります。



## \* \* \* \* \*

甲賀地域

ご近所福祉推進協議会

【事務局】甲賀市社会福祉協議会 甲賀地域福祉活動センター

〒520-3431 甲賀町大原中 886（かふか生涯学習館内）

電 話：88-2942 FAX：88-5096